資料番号1528

日本列島とユーラシア大陸は、どうして昔はつながっていたの

●古生代の日本列島は海底

古生代（今から約６億年前から約４億年の期間）の日本列島は、サンゴ礁が広がる浅い海底でした。海底では火山が噴火していました。

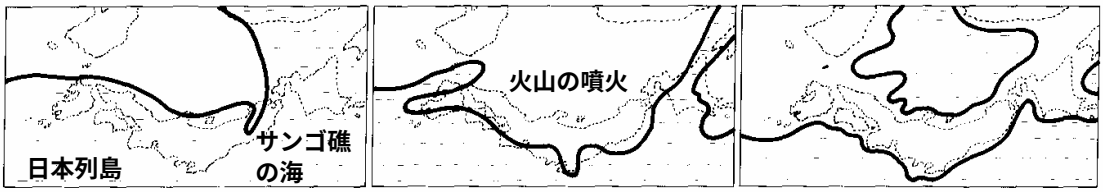
中生代（今から約２億２０００万年前から約１億５０００万年の期間）になって、火山や土地が盛り上がるはたらきによって、日本列島が海底から現れ、今のユーラシア大陸とつながりました。その後、今から１５００万年前に、激しく火山が噴火したりして、現在の日本海の真ん中あたりで大陸が割れ、今の日本海ができました。そして、日本列島は、ユーラシア大陸から切りはなされました。

●２億５０００万年ぐらい前、大陸は一つ

ドイツの気象学者ウェーゲナーは、アフリカと南アメリカの海岸線を合わせるとぴたりと合うことから、この大陸は、もとは一つだったと考えました。そのあとの研究により、２億５０００万年ぐらい前、すべての大陸が、一つになっていたと考えられました。この大陸をパンゲアといいます。

その後、パンゲアは分かれて、それぞれ移動していきました。アフリカと南アメリカ大陸がはなれ、ユーラシア大陸も、北アメリカ大陸からはなれていき、現在の大陸になりました。

（監修・国司　真）



古生代のようす ➡ 中生代のようす ➡ 約１５００万年前

無断複製：転載：翻訳を禁ず Gakken